

大正白稜高校 福泉高校 の 募集停止案は撤回してください

府立高校の「定員」には

ゆとり
があつて当然です

大阪では、「3年連続定員に満たなければ再編整備」とする府立学校条例を背景に、府立高校の廃校が続いています。今年も大正白稜高校(大阪市)、福泉高校(堺市)を2026年度から募集停止する案が発表されました。

しかし、子どもたちの「学ぶ権利」を保障するために設置されている公立高校の「定員」にゆとりがあるのは当然です。大阪府は「就学セーフティネット」として、毎年の募集定員が「進学予定者数」を上回るよう調整しています。「定員に満たない」学校が出るのは制度上の必然で、それを理由に学校をつぶすのは道理がありません。

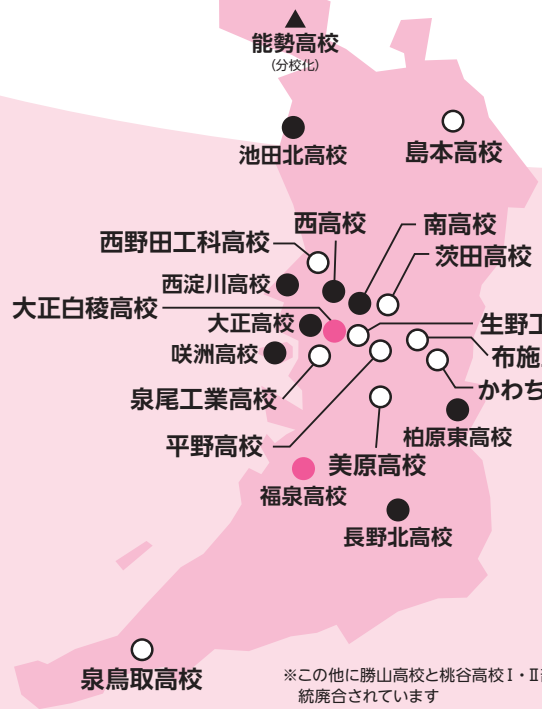
条例前の廃校も含めると府立高校は約40校もなくなり、府内市区町村の50%が「公立高校がゼロまたは1しかない」状況になります。柏原市、阪南市を含む15市区町村は公立高校ゼロです。他府県にはない理不尽な条例の抜本的見直しが必要です。



「定員割れ」で廃校!?

道理のない
高校つぶしはストップを!

府立高校はすでに約40校も廃校に
府内市区町村の50%が「公立高校0か1」!?



【条例制定後の廃校】(地図参照)
●すでに廃校になった学校
○廃校方針が決定された学校
●今回、募集停止案が発表された学校

【条例制定前の廃校(全日制)】
門真南・玉川・守口・八尾南・高槻南・上神谷・白菊・枚方西・加納・南寝屋川・横山・城山・少路・鳥飼・四條畷北・清友・西浦・砂川

大阪の高校を守る会

署名にご協力
ください

署名用紙の
ダウンロード



オンライン
署名

